

【概要】

乳幼児精神保健（乳幼児の心の健康）は、我が国においても世界全体においても、大きな社会的課題の一つです。その理由は、乳幼児虐待・ネグレクト、育児困難、子どもの貧困、戦時状況、などの多くの社会的問題があり、それらが直接に乳幼児の心を傷つけており、さらに後の発達に大きな否定的影響を与えているためです。我々は、昨年引き続き乳幼児精神保健についての系統的入門セミナー（春乃会「乳幼児精神保健入門セミナー」）に加えて、より詳細に実践的な評価や治療とその基礎である知見について提示するウェブセミナーを企画しました。医療法人春乃会・あおきメンタルクリニック乳幼児・家族外来で行っている、評価や治療と、その基礎となっているエビデンスを皆さまと共有したいと考えています。セミナーの内容は、乳幼児とその家族に関わり、その支援に四苦八苦されている皆さまの支援実践に役に立つもの信じています。講師は青木豊を中心とした我々クリニックの乳幼児チームが行います。われわれは乳幼児精神保健の支援すべてに精通していません。しかし、以下のテーマ群については、実践・研究・教育を積み重ね、皆様の参考になる情報を提供できると信じています。単発で受講することも可能です。

【セミナー内容全7回】

※2025年4月よりオンデマンドで配信。視聴可能期間はそれぞれ約1ヶ月間です。

講義時間は内容によって異なりますが、1時間30分から2時間程度になります。

I. アタッチメントとその障害

1) 臨床の基盤をなすアタッチメント理論について 2025年4月10日(木)～5月8日(木)まで

2) アタッチメントの問題とアタッチメント関連障害について

—特に被虐待ネグレクト乳幼児のアタッチメントの問題について— 6月10日(火)～7月8日(火)まで

II. 乳幼児期の心的外傷後ストレス障害

8月10日(日)～9月8日(月)まで

III. 乳幼児—養育者関係の重要性とその評価

1) 理論編 10月10日(金)～11月8日(土)まで

2) 実践編 11月10日(月)～12月8日(月)まで

IV. 乳幼児—親心理（精神）療法

1) 理論編 2026年1月10日(土)～2月8日(日)まで

2) 実践編（ケースプレゼンテーション） 2026年2月10日(火)～3月8日(日)まで

参加費：全7回セット 35,000円（税込）*各回に単回参加可能 1回 5,500円（税込）

※施設単位でのお申込みをご希望の場合は事務局までご相談ください。

対象者：乳幼児精神保健に興味関心のある専門職（心理職・保健師・福祉職・看護師・保育士・小児科医・精神科医）、研究者

開催方式：オンデマンド配信（各セミナーの配信期間にご注意の上、お申込みください。）

*録音・録画・画面撮影は固くお断りいたします。守秘義務にご賛同頂ける方のみご参加ください。

お申込み：下記URL、右記QRコードよりお申込みください。当クリニックHPからもお申込み頂けます。

①通年参加（全7回）お申込みの方はこちら→ <https://forms.gle/fdefFX9rZwPd3hyC6>

②単回参加（ご希望回のみ）お申込みの方はこちら→ <https://forms.gle/2bzeeLGJKftFLDkX6>

*折り返し、受理通知と振込先をご案内申し上げます。原則として、参加費のご返金はいちし兼ねます。お申込みの際、メールアドレスは添付資料が受信できるアドレスをご登録ください。

締め切り：2025年3月8日（土）

※単回参加ご希望でなおかつご希望回の配信期間前であれば、左記締め切り後も申込みが可能ですのでセミナー事務局までメールにてご連絡ください。

問い合わせ：医療法人春乃会 あおきメンタルクリニック 研修事務局 aoki.seminar5@gmail.com



【通年】



【単回】

I. アタッチメントとその障害

1) 臨床の基盤をなすアタッチメント理論について(4/10~5/8)

アタッチメントの形成は、乳幼児のみならず人間の心の発達の基礎の1つと考えられています。しかし、アタッチメント(愛着)やアタッチメント障害という用語は、しばしば多義的に使われ、臨床上も建設的な議論が行われにくいこともあります。本セミナーでは、第1回臨床に活用できるアタッチメント理論の基礎を、以下の疑問から学びます。アタッチメントとは何か?どのように評価するのか?アタッチメント形成はその後の心の発達に影響を与えるのか?アタッチメント形成の歪みやその程度についてどのように評価するのか?アタッチメントに基礎づけられた支援とはどのようなものなのか?などの疑問です。動画資料なども用いてわかりやすくお話しします。

2) アタッチメントの問題とアタッチメント関連障害についてー特に被虐待ネグレクト乳幼児のアタッチメントの問題について(6/10~7/8)

次に、アタッチメントの問題とアタッチメント関連障害について学びます。アタッチメント関連障害とは何か?同障害はアタッチメントの問題の中でどのように位置づけられるのか?これら障害を持った子どもにもどのようなアプローチが有効なのか?などについて、動画資料なども用いて解説します。

II. 乳幼児期の心的外傷後ストレス障害(8/10~9/8)

乳幼児期の外傷後ストレス障害は、臨床と実証的研究の積み重ねの上で、2013年にDSM-5において6歳以下のPTSDの診断基準が掲載されることで、国際的にもその存在が公認されました。しかし現在、専門家のあいだでも必ずしも広く知られていません。また、この病理は、被虐待乳幼児の特異的な心の問題の1つです(もう1つがアタッチメントの問題です)。そこで、本セミナーでは、動画なども用いて、その存在を皆さんと確認したいと思えます。また、ゆれぐらいの乳幼児がトラウマの後この障害になるのか?どのような要素が発症率を高め、重症化させるのか?この障害のこころの脳に何かおこっているのか?治療・支援の大きな枠組みはどのようなものなのか?などについて皆さんと考えます。より詳細な支援については、平行して行っている「乳幼児精神保健入門セミナー」の同テーマの講義を参照してください。

III. 乳幼児-養育者関係の重要性とその評価

1) 理論編(10/10~11/8)

乳幼児精神保健の評価・支援は、乳幼児-養育者関係への評価・介入が中核であると考えられています。まずは乳幼児虐待・ネグレクトに関しては、それ自体が関係性の障害であると捉えられており(DC:0-5:世界最先端の乳幼児のための診断基準)、関係性の評価が必須との認識があります。本セミナーでは、まず理論編として、以下の疑問に、動画資料なども用いて皆さんと考えます。乳幼児精神保健において関係性がなぜ重要なのか?関係性とはどのように捉えられ、概念化されるのか?などの疑問です。

2) 実践編(11/10~12/8)

次に、それぞれ理論を基盤に、実際どのように乳幼児-親の関係性を評価するのか?について、動画資料なども使い解説します。評価の実際については、われわれクリニックの乳幼児チームが行っている評価(Zeanah, Cが開発した評価法のセット)について説明します。この評価法は、神奈川県の子童相談所においても、この10年間実践が始まっています。支援の計画や効果のモニターにも欠かせない関係性評価は、乳幼児-親の支援に関わっておられる支援者のみならず、親権をめぐる法的決定の論拠の一部に活用できると考えています。

IV. 乳幼児-親心理(精神)療法

1) 理論編(2026.1/10~2/8)

乳幼児精神保健の支援は、乳幼児-養育者の関係性の改善を目指すことが中心と考えられています。関係性を改善する治療の内、心理療法的アプローチの代表が乳幼児-親心理(精神)療法です。我々あおきメンタルクリニック乳幼児チームでは、この治療法を、修練しながら長く実践してきました。本セミナーでは、まず理論編で、治療機序やその技法の詳細について解説します。

2) 実践編(ケースプレゼンテーション)(2026.2/10~3/8)

次に、3つの症例を、技法を説明しながら提示します。関係性の課題が世代間伝達するまま、それを絶つことができないことを、お伝えします。



青木 豊 (精神科医, 医学博士)

(現職) 医療法人春乃会理事長, あおきメンタルクリニック代表

東京科学大学非常勤講師, 早稲田大学招聘研究員, 東海大学医学部非常勤講師

(公職) 認定NPO法人チャイルドファーストジャパン理事, 日本乳幼児医学・心理学会 評議員

(略歴) 1985年 国立山口大学医学部卒業, その東海大学医学部精神科学教室に所属

1996年~1998年 ルイジアナ州立大学およびチュレーン大学精神科にて3年間乳幼児精神保健の世界のリーダーの1人Charles Zeanahに師事。2000年4月~ 相州メンタルクリニック, あつぎ心療クリニックで、乳幼児専門外来を組織。2011年4月~2022年3月目白大学人間学部教授2019年11月~ あおきメンタルクリニック開業。その一部に乳幼児・家族外来開設

(著書) 青木豊・松本英夫(編著) (2017) 乳幼児精神保健の基礎と実践 岩崎学術出版社; 青木豊(編著) (2015) 乳幼児虐待のアセスメントと支援 岩崎学術出版社など 著作・論文多数

(研究) 現在、研究責任者として「社会的養護における養育環境測定法EQの開発とその妥当性の検討」(基盤研究(B) 日本学術振興会 科学研究助成) を施行中